

【骨密度検査を受けられる方へ】

■ 検査の概要

骨密度検査（DEXA法）とは放射線を用いて、骨の中にあるカルシウムなどのミネラル成分がどれくらいあるのかを測定する検査です。

ミネラル成分が不足していると”骨粗しょう症”や骨折のリスクが高くなるため、早期発見が重要です。

骨粗しょう症は初期症状には気づきにくく、年齢とともに起こりやすくなるため特に40歳以上の方は定期的に受けられることをお勧めします。

＊骨粗しょう症・・・骨もろくなり、骨折しやすくなる病気。

腰椎や大腿骨で骨密度を測定します。

検査時間は10～15分程度です。

痛みはありませんのでご安心下さい。



■ 検査に関するご注意

- ☐ 検査は仰向けの状態で撮影をします。検査中は息を止める必要はありませんが、身体を動かさないようにお願いします。体勢の維持が難しい方は担当の者にお伝え下さい。
- ☐ 検査部位に金属やボタン、湿布などの貼り薬がある場合は、外していただくか専用の検査着に着替えていただく場合があります。

■ 下記の方は検査を受けることができない場合があります

- ☐ 妊娠中または妊娠の可能性のある方
- ☐ ペースメーカーが腹部にある方
- ☐ 検査の1週間以内にバリウム検査、造影剤検査、RI検査を受けた方
- ☐ 検査部位に体内インプラントを挿入している方
 - ＊片方の大腿骨に金属インプラントが挿入されている場合は挿入されていない方で測定します。

その他、ご不明な点がございましたら遠慮なくご相談ください。